

# ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY  
ASSEMBLY NEWS



No.262 令和5年1月26日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会  
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1  
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

令和4年  
第4回 定例会

会期：11月16日～12月12日の27日間

## 目次

- 代表質問…………… 2面
- 一般質問…………… 3～5面
- 定例会活動報告等…………… 6～7面
- 本会議における討論等…………… 8～10面
- 令和4年の議会活動から…………… 11面
- 議案の審議結果等…………… 12面

## 新年のご挨拶 千代田区議会議員 桜井ただし



明けましておめでとうございます。

希望に満ちた令和5年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

区民の皆様には、日頃から区政に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、台風・豪雨等による風水害により、姉妹提携先である秋田県五城目町や連携協定先の福井県をはじめ、各地で甚大な被害が発生しました。千代田区においても、区民の生命・財産を守るため、より一層、危機管理体制の充実に向けた取り組みが必要であると認識しております。

さらに、昨年は新型コロナウイルス感染症の新規感染者が全国的に増加し、日々の生活にも大きな影響を及ぼし、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念された年でもありました。区民の皆様におかれましても引き続き感染対策の徹底をお願いする次第でございます。

区政においては、第4次基本構想の策定をはじめ、次世代育成支援や保健福祉施策の充実、環境対策、DX推進等、各種施策の推進に向けて多くの課題がございます。

区議会といたしましては、「誰もが安全に安心して暮らし続けられるまち千代田」の実現のため、これらの区政課題解決に向け、執行機関と連携し、全力を尽くしてまいりますので、相変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

今年の干支は「卯」です。元気に飛び跳ねることから、飛躍の意味があるといわれています。今年がさらに飛躍して、明るい話題と希望の持てる1年になることを望みますとともに、皆様にとりましてより良い年になりますことを心からお祈り申し上げます。

## 千代田 区議会議員



小野なりこ 岩佐りょう子 長谷川みえこ



小枝すみ子 秋谷こうき 岩田かずひと 桜井ただし 西岡めぐみ



飯島和子 牛尾こうじろう 木村正明 大坂隆洋 池田とものり



山田丈夫 永田壮一 たかざわ秀行 米田かずや 大串ひろやす



林則行 嶋崎秀彦 河合良郎 小林やすお 小林たかや

## トップニュース

TOP NEWS

令和4年度

## 一般会計補正予算第3号を可決

補正前の額「697億9,864万8千円」に、「10億9,392万9千円」の予算額を追加するものです。内容は、「子育て・教育応援給付金事業」、「区立施設や指定管理施設の維持管理」に要する経費などの追加です。



### 区議会の役割

区議会では区に対して、さまざまな質問や提案を行っています。区議会ではどのようなことが議論され、区はどう取り組んでいるのか、今回の補正予算のうち「子育て・教育応援給付金事業」を例にご紹介します。

### 令和4年第3回定例会(9月)

#### ●議会の質問

来年度の予算編成を待たずに、地域の実情に応じた物価高騰対策を行うために国が創設した交付金を使って、区独自の物価高騰対策を行うべき。

#### ●区の答弁

機を逸することなく、今年度中に、庁内で議論を重ねて、検討を進めていく。

### 令和4年第4回定例会(11月)

#### ●区での取り組み

「さまざまな物価が高騰している現状に鑑み、子育て世帯の経済的負担を軽減するための経費について、追加の予算を計上する」として、補正予算案が提出されました。

#### ●予算特別委員会での審査

詳細は8ページをご覧ください。

### 「子育て・教育応援給付金事業」を決定

#### 〈事業の概要〉

物価高騰に直面する子育て世帯への経済的負担を軽減する観点から、子育て・教育に係る経費をサポートするため、18歳以下の子どもを持つ保護者に対して、子ども1人あたり5万円を支給するものです。



# Q&A

# 代表質問 (要旨)

議員紹介は  
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

## 千代田区議会 自由民主党 大坂 隆洋



### 基本構想策定への課題認識

**問** ①新たな基本構想の理念の背景にある課題認識は②「行財政改革に関する基本条例」の今後の取扱い、行財政運営推進の方針は。

**答** ①区民の暮らしの質の向上のためには、変化に柔軟に対応できる行政運営が不可欠②本条例は新基本構想策定と同時に廃止。健全な財政を維持し、次世代に負担を先送りしない財政運営を推進。

### 子育て支援への考え方

**問** ①国の動向を踏まえて、切れ目のない支援充実についての考え方は②物価高騰対策には幅広い支援が必要。所得制限の設定は。

**答** ①国の動向を注視し、児童福祉と母子保健の一体的な支援体制整備に向けた方策を検討し、子育て家庭への支援の充実を図る②本区の特性を踏まえ、公平性の観点から所得制限を設定しない。

#### こども政策の基本理念

- こどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立案
- 全てのこどもの健やかな成長、Well-beingの向上
- 誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援
- こどもや家庭が抱える様々な複合する課題に対し、制度や組織による縦割りの壁、年齢の壁を克服した切れ目のない包括的な支援
- 待ちの支援から、予防的な関わりを強化するとともに、必要なこども・家庭に支援が確実に届くようプッシュ型支援、アウトリーチ型支援に転換
- データ・統計を活用したエビデンスに基づく政策立案、PDCAサイクル(評価・改善)

出典:内閣官房こども家庭庁設立準備室資料より抜粋

### DXの促進について

**問** ①誰一人取り残されないデジタル社会実現に向け、どのようにDXを推進するか②学校健診データのデジタル化による活用の考え方、歯科健診データ活用の進捗は③区DX戦略の進捗状況は。

**答** ①対面サービスも継続し、デジタルが苦手な方を支援②庁内各部や関係機関と情報共有し、検討を進める③年度内に全庁LANシステムは移行を完了見込。区独自のポータルサイト構築を進める。

## 日本共産党区議団 木村 正明



### 物価高騰から暮らしを守るために

**問** ①消費税のインボイス制度は小規模事業者新たな税負担や事務負担を強いる。区が実施することで事業者や地域経済に与える影響を調査すべき②国の臨時給付金の対象外となる低所得世帯へ区独自の支援をすべきと提案してきたが、どのような検討をしたのか③長引くコロナ禍や物価高騰等に苦しむ小規模事業者に自己努力を求めるのは限界がある。固定費補助を真剣に検討すべき。

**答** ①国政の場で議論されるべきものと認識②子育てや教育の負担軽減を目的に、子育て世帯への区独自の特別支援給付金を今定例会に補正予算として提案③固定費補助という手段よりも、専門家

による経営相談を実施しながら解決のための改革を支援する。

### 新型コロナウイルス感染症第8波対策について

**問** 発熱外来等の医療体制強化に向けた必要な支援を求める。

**答** 本区は100施設以上の医療機関に発熱外来を担っていただいております。今後もオンライン診療等を生かしつつ、体制強化に努める。

### 医療機関も望まぬマイナ保険証

**問** 発行は任意のマイナンバーカードに健康保険証を一体化することは事実上の強制である。紙の保険証も選択できるようにすべき。

**答** DX戦略も踏まえ、制度の趣旨に従った適切な運用に努める。

#### 全国保険医団体連合会(保団連)のアンケート調査から

(8月12~31日に会員を対象に実施)



しんぶん赤旗(9月26日付)

## 公明党議員団 大串 ひろやす



### 危機の時代の羅針盤であるSDGsを 区の政策全般に反映せよ!

**問** 私たち人類は地球の限界を超える、地球1.69個分もの資源を消費してきて何を得たのか。逆に地球の温暖化や生物多様性の喪失、また、貧困や格差の拡大等を招いたといえる。このような状況に世界は2015年、国連において、SDGs「持続可能な開発目標」を可決した。地球一個分の人類社会の実現と、将来世代の可能性を摘まない社会・経済・環境の実現を目指すものだ。危機の時代の羅針盤である。その取り組みは自治体も例外ではない。そこで、SDGsを区の政策全般に反映することを提案する。

**答** 自治体の取り組みの多くはSDGsと軌を一にしている。よって、各種の政策推進においてはSDGsの意義を踏まえながら展開していく。



### 障害があっても幸せに生きていけるための 教育支援とかかわりは

**問** 障害のある子どもは、その障害を補おうとする能力の発達が著しいことから障害があっても幸せに生きていけるという。そこで、障害がある子どもへの教育支援と関わり方を問う。

**答** 障害等で支援が必要な子どもには、教職員が子ども・保護者と共に教育支援シートを作成している。子ども一人ひとりの特性や個々の良さを伸ばすための支援を行い最適な学びを実現していく。

# Q&A

# 一般質問 (要旨)

議員紹介は  
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

## 西岡 めぐみ

(自民)



### 医療的ケア児等家族の支援体制

**問** 本区は0-2歳の障害児や医療的ケア児等、小児領域のレスパイト施設や、乳幼児対象のショートステイ施設がない。ご家族の負担軽減を行政がサポートし、一貫して切れ目のない支援を強く求める。

**答** 外部有識者や医療・療育機関等による協議会を年度内に設置して情報共有・連携を一層促進し、支援体制整備に取り組む。

### 子どもたちの安全対策について

**問** ①子どもの送迎バス安全装置設置義務化による本区の体制は②園児の公園置き去りや園への不審者対策等、安全マニュアルの見直しは③学校指定用品店と連携の上、児童や生徒の利便性、安全面を考慮し、購入し易い環境配慮を求める。

**答** ①乗降時点呼の徹底やバス運行委託契約に安全装置設置を条件とする②ICT顔認証での登園管理等の改善を図る③より良い体制の整備を学校と協議していく。

## 米田 かずや

(公明)



### 子宮頸がん対策について

**問** ①HPVワクチンの対象世代の接種状況は②検診に子宮頸部細胞診だけでなく、HPV検査との併用法を検討しては。

**答** ①前年に比べ増加傾向だが、引き続き接種勧奨が必要②併用法は偽陽性者が多く、条件付きで推奨とされており、今後の国の議論の動向を注視し対策に取り組む。

### デフリンピック東京大会

**問** ろう者やろう文化への理解促進のため、学校と連携し、体験授業や練習の見学等、選手と交流の場を設けることを提案する。

**答** 直接見聞きすることで、障害への理解が深まり、障害者スポーツの振興につながるよう、教育委員会と連携し取り組む。



出典:一般財団法人全日本ろうあ連盟

## 河合 良郎

(自民)



### 児童福祉法改正と本区の見解

**問** 本区の児童相談所設置の検討とともに、子育て世帯に関する包括的な支援体制の構築が必要①本区の子育て支援、特に発達支援の取り組みについて、今後の方向性は②子育て家庭に対する包括的な支援体制整備について、児童・家庭支援センターを中心に、既存の支援体制のさらなる強化・充実が必要では。

**答** ①児童発達支援センターの設置に向けた検討とともに、早期発見・早期支援の取り組みを通じた更なる支援に取り組む②専門職の確保・育成、関係機関との連携を図り、国の子ども家庭センターの動向も注視して、児童福祉と母子保健の一体的な支援の提供体制整備の方策を検討する。



## 秋谷 こうき

(至誠会)



### 大丸有地域のスマートシティ化

**問** ①令和2年のスマートシティビジョン策定後に行われた実証事業と、その検証結果、実装の可能性は②当該地域の企業技術の可能性を生かし、公的な価値とつなげるため、区として、どう関わるのか。

**答** ①自動運転車両や配送ロボット、情報一元化アプリ等のさまざまな実証実験を行ってきた。各々検証を行い、可能なものから順次実装を進めている。今後も取り組みを推進していく②さまざまな取り組みに関与し、知見等を庁内横断的に共有し、関連事業について研究を深めていく。

### 区全体のスマートシティ化

**問** 本区のスマートシティ推進の検討状況と今後の方向性について、区長の見解は。

**答** 区民の暮らしの質等の継続的向上に、スマートシティへの取り組みが不可欠。その方向性やさまざまな主体の連携の仕組みづくり等について検討し、推進していく。

## 牛尾 こうじろう

(共産)



### 憲法の立場で学校給食無償化を

**問** 学校給食法は自治体の全額補助を禁じていない。憲法は義務教育を無償としており、学校給食は食育としての教育でもある。学校給食の無償化を強く訴える。

**答** 法が給食費全額補助を否定するものではないことは認識。区は平成29年度から全児童・生徒への給食費の一部補助を実施。給食無償化は考えていないが、引き続き総合的な子育て・教育施策の充実を図る。

### 区内でのサ高住建設の見通しは

**問** 介護等の支援が受けられるサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)の必要性に対する見解及び整備方針の進捗について。

**答** 高齢者向け住宅の一つとして必要性を認識。ニーズに合うサービスと経営安定の両立について検討を重ねる。整備手法は、低未利用地等の活用や再開発事業での誘導等さまざまな可能性を検討し、住宅基本計画改定に位置付けるよう取り組む。



# Q&A

# 一般質問 (要旨)

議員紹介は  
こちらから



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

## 小野 なりこ (都ファ)

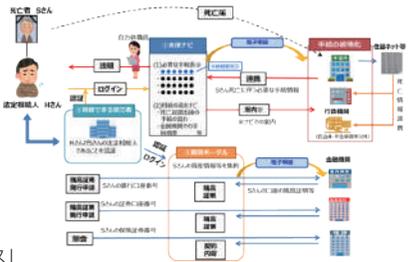


### ご遺族支援と故人のペット問題

**問** ①負担が重なる、ご遺族の申請・届出の窓口対応をワンストップで行う等の支援は②故人のペットの対応策は。

**答** ①総合窓口課でワンストップの対応。今後、おくやみハンドブック作成も検討②関係機関と連携し適正飼育を啓発。ペットのセーフティネットも検討。

出典:デジタル庁「死亡・相続ワンストップサービス」



### 自転車駐輪場の地域課題

**問** 築年数40年以上のマンションは駐輪場が少ない。居住者用の駐輪場が不十分な番町、麴町地域の現状把握と解決策は。

**答** 周辺環境への影響や区民ニーズ等の把握に努め、民間との連携等の対応策を研究し、併せてシェアサイクル活用も促す。

## 岩田 かずひと (立民)



### 二番町地区の地区計画変更

**問** ①超高層ビルを建てられるような地区計画変更の影響は二番町だけに限らない。広く説明会対象者を広げるべき②多くの区民が心配し、反対する本事業を区が推進し、区にもたらされるものは何か。

**答** ①法に基づく説明会を開催し、二番町の地権者に意見をいただいた②地域要望を踏まえた広場整備、バリアフリー対応等により、地域課題解決、生活の質向上、持続可能な地域活性化に寄与するもの。

### 外神田一丁目再開発の法解釈

**問** 外神田一丁目南部地区再開発計画作成に際しての説明会は十分な期間、十分な広報がなされず、都市計画法に基づく本来の意見聴取手続きではなかったことは明らか。区は今後どのように対応していくのか。法解釈について国の見解は。

**答** 法の規定に則り手続きを行ってきた。法解釈の見解も国と区は同一である。

## 山田 丈夫 (自民)



### 地域コミュニティの醸成支援

**問** コロナ禍の長期化が地域コミュニティの希薄化を招いた。ウィズコロナの観点から地域の実情にあったコミュニティ活動支援が必要①町会個別の状況を把握・分析し、街に寄り添った支援を②時限的な醸成支援事業の期間延長や充実を。

**答** ①出張所を中心に情報を収集・分析しニーズに合い、街に寄り添った支援につなげる②事業内容の整理、検討を進める。

### 清洲橋通り整備計画について

**問** 区道の適正な整備や維持管理は区の重要な役割。狭い歩道に電柱や電線が残る等、区境の道路整備状況に大きな違いがある清洲橋通りに関して①これまでの経緯を踏まえた検討状況は②隣接区との調整が不可欠である。現在の調整状況は。

**答** ①電線類地中化済みの区間も含め、整備に向け具体的な検討を開始した②整備概要等がまとまり次第、調整・協議に入る。

## 政治家の寄附行為は禁止されています。

政治家(公職の候補者等を含む)が、選挙区内の人や団体にお金や物品を贈ることは、時期や理由を問わず禁止されています。

有権者が寄附をするよう勧誘または要求することも禁止されています。政治家(公職の候補者等を含む)が地域の行事、会合に出席することがあります。ご注意ください。

### これらの行為は全て禁止です!

- 入学祝い・卒業祝い
- 運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- お中元・お歳暮
- 町会の集会や旅行等の催し物への寄附や飲食物の差し入れ
- 病氣見舞い
- お祭りへの寄付や差し入れ
- 落成式・開店祝いの花輪

## 本会議・委員会を傍聴してみませんか?

本会議や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴することができます。

千代田区議会HPで日程をご確認の上、区役所8階の議場傍聴席、委員会室へお越しください。



## 本会議の傍聴はインターネットでも!

### インターネット中継

千代田区議会HPの「インターネット中継」で本会議の生中継及び録画視聴が可能です。右の2次元コードや区議会HPからご覧ください。



### 文字(字幕)配信

インターネット中継の音声聞こえづらい方のために本会議を文字で生配信しています。右の2次元コードや区議会HPからご覧ください。



# 定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案10件、議員提出議案1件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。  
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

## 常任委員会

### 企画総務委員会

議案8件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

**「千代田区個人情報の保護に関する法律施行条例」**は、「個人情報の保護に関する法律」の一部改正に伴い、地方公共団体の個人情報保護について法による全国的な共通ルールが適用されることとなったため、法において「条例で定める」とされる事項について新たに条例を制定するとともに、千代田区個人情報保護条例を廃止するものです。

#### 〈審査経過〉

質疑の中で、個人情報を取り扱うルールが地方自治体ごとに異なるため、国が個人情報保護制度のルールを一本化することに伴い新たに条例を制定すること。特定の利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情

報の収集や保有をすることはないこと。オンライン結合については、技術的な内容を含めた安全管理措置を講じ、個人情報の安全を確保すること。職員一人ひとりが改めて個人情報保護の重要性を認識し厳格に取り扱っていくこと等が明らかになりました。

#### 〈討論〉

##### 【反対の意見】

デジタル改革の名で個人情報を活用することが強調されているが、オンライン結合の禁止等、現行条例にある保護規定がなくなり、個人情報保護の仕組みが大きく後退することは必至である。国の進め方も各自治体の自治権を侵害するものことから、反対する。(木村)

国の法改正により個人情報保護が後退することが危惧され、区民の心配を拭えるだけの制度設計が十分にできていないと考える。個人情報のコントロール権をしつ

かりと担保するための個人情報保護審議会の位置付けや、制度、仕組み等が不十分であると判断し、反対する。(小枝)

個人情報の収集について、不必要な情報を収集してはならないと言いつつも、誰がどのように決めるのか、制限はどうやってするのか等のルールづくりが不十分であり、個人情報のコントロール権など、非常に危険をはらんでいることから反対する。(岩田)

##### 【賛成の意見】

個人情報を安全に活用しながらデジタル化を進めることはこれからの社会には不可欠であり、各自治体が共通ルールによる個人情報制度を運用していくことが必須である。区には個人情報保護と活用の両立を図り、より区民の利便性を向上させることを求め、本議案に賛成する。(小林た)

その他、**「千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例」**等の7議案の審査をしました。

## 常任委員会

### 地域文教委員会

議案3件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

**「千代田区高校生等医療費助成条例の一部を改正する条例」**は、高校生等医療費助成事業が東京都全域で実施されることに伴い、助成対象者の拡大、規定整備を行うものです。

保護者の扶養から外れている者、また婚姻した者についても対象となること。本人のみが区内に住所を有して、保護者が区内に住所を有しない場合でも対象となること等の説明がありました。

#### 〈審査経過〉

制度改正による新たな対象者は、20人程度を想定していること。現在の高校生等医療費助成は区の一般財源で対応しており、令和3年度決算額は約3,500万円であったこと。

令和5年度から7年度までは、所得制限内の人を対象に都が負担し、区に約1,500万円の補助金が入ること。令和8年度以降については、22.5%は都負担、77.5%は区負担となり、約800万円の補助金が入る見込みであること。今後、都からの補助金が減額されても区の一般財源で対応し、新たに対象となった方も含めてこの医療費助成を継続していくと認識していること等が明らかになりました。

また、**議員提出議案第9号「千代田区学校給食費の助成に関する条例」**は、千代田区立の小・中学校、中等教育学校前期課程の学校給食費を負担する保護者に対し、学校給食費相当額を助成金として交付することにより、保護者の負担軽減を図り、子育て支援を推進するとともに、学校給食を充実させ、食育を推進することを目的とするものです。

#### 〈審査経過〉

提案者は、憲法の「義務教育は無償」とい

うことを実践したいと考えていること。現在学校給食は1食45円を区負担、差額を保護者負担としているが、全額無償にすることで事務負担は軽減すると考えていること。区では子育て教育支援策としてさまざまな手当を支給しているが、学校給食を無償化してもそれらの手当を減額する必要はないと考えていること。各学校の特色ある給食は、学校給食を無償化しても学校行事として実施すべきと考えていること等が明らかになり、一方、区は、現在、学校給食は私費会計のため各学校が地域の中小企業者等から食材を購入しているが、学校給食を全額補助すると公会計となり、この場合は入札等で業者選定するため、当該中小企業者等が契約できない可能性もあると考えていること。全額無償化になると公平性の観点から実施回数は一律になる可能性が大きく、特色ある給食献立等に制約が出ることを懸念していること等が明らかになりました。

# 定例会活動報告

## 常任委員会

### 保健福祉委員会

区からの報告4件は以下のとおりです。

「**介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について**」は、65歳以上で要介護認定を受けていない区内在住者を日常生活圏域ごとに調査し、地域が抱えている課題を把握したうえで、第9期介護保険事業計画の策定を行う基礎資料にする等の報告がありました。

質疑の中で、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のアンケートに関して、アンケート項目や対象者数、アンケートの表現等、委員からの指摘を踏まえ次回に向けて改善していくこと等が確認されました。

「**オミクロン株対応ワクチンの接種実績等と今後の予定について**」は、区では9月28日より重症化リスクの高い方、10月11日からは12歳以上のすべての区民を対象に、

オミクロン株対応ワクチンの接種を開始し、その実績報告がありました。また、今後の接種体制として、1・2回目接種に使用している従来型ワクチンの国からの配給が年内で終了するため、区では1・2回目接種を年内で終了予定とし、代わりにオミクロン株対応ワクチンの接種体制増強を図ること。以降の接種希望者には個別対応を行うこと等の報告がありました。

質疑の中で、接種の予約枠が相当数埋まる中、早期の接種を希望する方への対応として、区の接種会場の予約枠を増やし、さらに不足する場合は、国や東京都の接種会場を案内していくこと等が確認されました。

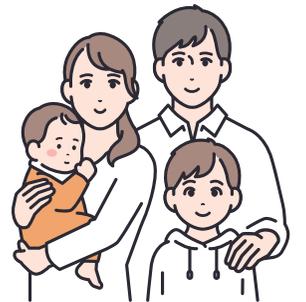
「**都が示した仮係数による令和5年度国保標準保険料率について**」は、仮係数による令和5年度国保標準保険料率、今後のスケジュール等の報告がありました。

質疑の中で、国保加入者の保険料の上昇

を極力抑えて、負担を軽減するような考えで区は今まで取り組んできたこと、そのための方策として法定外繰り入れも念頭に置きながら検討すること等が確認されました。

「**「新しい日常店」認証制度に係る換気に関する連携協定の延長について**」は、「千代田区新しい日常店」認証施設に配付しているCO<sub>2</sub>センサの製造者と、昨年引き続き、換気に関する協定を1年延長することとした等の報告がありました。

質疑の中で、これまで協定に基づき取り組んできたが、事業効果の見える化を図ることや、今後のパンデミックに備えて各店におけるコロナ対策の実態把握に努めていくこと等が確認されました。



## 特別委員会

### 環境・まちづくり特別委員会

外神田一丁目南部地区のまちづくり、日本テレビ通り沿道まちづくり、六番町偶数番地地区のまちづくりの報告があり、併せて、陳情審査が行われました。また、外神田一丁目南部地区については、陳情者への参考人意見聴取も行われました。その他、九段南一丁目地区のまちづくり、神田警察通り周辺まちづくり方針(案)、秋葉原駅前東地区のまちづくりの報告がありました。

### 公共施設調査・整備特別委員会

当委員会で調査研究する各施設のうち、軽井沢少年自然の家については、「あり方基本構想策定委員会」において施設に必要

な機能及び整備・運営手法を検討し、取りまとめた基本構想の中間報告(案)の報告がありました。また、新スポーツセンターについては、基本構想の策定に向けて利用者や関係団体等へのアンケート調査、指定管理者へのヒアリング調査を実施するとともに、検討事項を整理し、年度内に基本構想の素案をまとめる予定であることが報告されました。

### 災害対策・危機管理特別委員会

マンション防災計画は任意のものであり、法令上の基準はないが、分譲・賃貸の所有形態や規模に関係なく、全てのマンションに必要と考えていること。マンション防災については、管理組合のある分譲マンションから可能な限り支援し、オーナーの実態把握が困難な賃貸マンションは引

き続き検討課題とすること等を確認しました。

また、今年度の避難所防災訓練実施状況について報告がありました。

### 議会のあり方調査検討特別委員会

本年第1回の定例会から試行で実施してきた、予算・決算特別委員会での条例部ごとの総括質疑については、今後も同様の方法で実施しながら、課題解決に向けてさらに検証していくことを確認しました。また、他自治体の子ども議会については、視察に代えて個別に調査していくこととしました。

12月8日には、関東学院大学法学部准教授の牧瀬稔氏を講師に迎えて「議会改革」のテーマで勉強会を開催しました。

(勉強会の詳細は9ページをご覧ください)

# 予算特別委員会

付託された議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

**〔令和4年度千代田区一般会計補正予算第3号〕**は千代田区子育て・教育応援給付金事業、旧和泉町ポンプ所の解体工事、障害福祉サービス事業所等物価高騰緊急対策事業、国・都支出金過年度超過交付金等返還金及び本庁舎、学校施設、児童福祉施設、街路灯等の維持管理に要する経費等の追加として、10億9,392万9千円を計上するものです。

## 〈審査経過〉

質疑の中で、物価高騰による光熱水費予算不足の事態に対し、区の各施設において状況に応じた使用量抑制について適切な努力をしていくこと。物価高騰に対する各世帯への支援策については、その必要性を来年度に向けて十分見定めていきたいと考えているこ

と。従来から区が実施してきた子育て支援施策と同様、所得制限のない今回の子育て・教育応援給付金に関して、DV等による区外在住者、児童相談所で保護されている児童等に加え、ウクライナから避難されている方々への給付の可否については、個々の状況を確認し丁寧に対応していきたいと考えていること等が明らかになりました。

## 〈討論〉

### 【賛成の意見】

光熱水費や物価高騰の影響は全世帯に及ぼしているが、住民税均等割のみ課税されている世帯、年金のみの世帯、小規模事業者等の生活や営業に困窮する方々に対する支援策が皆無である。独自の事業を行っている自治体も多くある中で本区が行えない財源的理由はない。今回の補正予算は非常に不十分であるが、子育て・教育応援給付金を評価し、更なる区独自支援事業の速やかな検討を強く求め、賛成する。(飯島)

物価高騰による出費は、子育て・教育応援給付金による一時的支援で改善するものではなく、次世代育成手当、給食費などの継続的支援が必要である。学校給食費無償化が公・私立間で不公平というなら、物価高騰による区民全体の生活応援のため均等な給付が必要である。子育て世帯支援から始め、来年度に向けて区民全体への公平な支援について、区がその必要性を見極めていくとのことであり、賛成する。(長谷川)

質疑を終了し、採決の結果、賛成全員により可決すべきものと決定しました。

## 本会議における討論

千代田区学校給食費の助成に関する条例

否決

### 【反対の意見】

子育て支援や食育の推進に異論はない。ただし、本条例では、手法が適切でなく、助成金に関する教員の事務負担が増える。また、助成金と食育の関係が不明確。我が会

派では物価高騰に対する子育て支援として、所得制限を設けない即効性のある支援策を要望し、給付金を含む補正予算が成立。これにより子ども1人あたり5万円の給付が行われ、総合的な子育て・教育施策の充実が可能に。よって本条例に反対する。(池田)

### 【賛成の意見】

コロナ禍による収入減少が回復しない中、子育て世帯における家計は深刻な状況が続いている。未来を担う子どもたちの身体をつくる大切な食事の1食である学校給食。その給食費の無償化を千代田区が率先して実施することで、他の自治体に与える影響は大きい。義務教育は無償という憲法

の考え方や、保護者の経済的負担と教職員の事務負担の軽減にもつながる学校給食費の無償化を進めるため、賛成する。

(長谷川)

学校給食の役割がさらに大きくなる中、食材の保護者負担額は子ども1人で年間約5万円であり、子育て・教育応援給付金や国、千代田区の補助は負担軽減として極めて不十分。全額助成を行っても従来通り食材発注等が行え、献立の独自性を保つことは可能。既に23区の中でも実施を表明した区や検討に取りかかっている区もある。千代田区的全額助成の予算規模は約2億5,000万円と財源にも問題はない。(飯島)

## 本会議における討論

消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書

否決

### 【反対の意見】

インボイス制度は、計算が複雑化した消費税額の正確な算出を可能にし、正しい納税には必要不可欠。制度開始から6年間は、免税事業者からの仕入れに一定の割合で仕入税額控除ができる経過措置が設けられ、この間に対応を検討することもできる。一方、小規模事業者へは、各種支援制度の活用等による支援が求められる。よって、引き続き国の相談窓口体制の強化と支援継続を求め、本議案に反対する。(小林や)

### 【賛成の意見】

インボイス制度は零細事業者やフリーランスで働く人に経済的、事務的に大きな負担をかける仕組み。制度導入で演劇関係者等の2割が廃業の可能性がある」と回答した。日本文化の衰退につながりかねない。複数税率であっても2つなら現行の帳簿方式で対応可能。政府がインボイスに固執するのは複数税率が3つ以上の欧州のように最高税率引き上げを狙っているため。増税を強いるインボイス導入を中止すべき。(木村)

## 可決した議員提出議案

外神田一丁目南部地区の  
まちづくりに関する専門的事項に  
係る調査の依頼について

全会一致

本議会は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第100条の2の規定により、下記のとおり調査を依頼するものとする。

記

- 1 調査事項  
外神田一丁目南部地区のまちづくりに関する事項

- 2 調査期間  
令和4年12月13日から令和5年2月8日まで
- 3 調査を依頼する者  
明治大学 名誉教授 青山 侑 氏  
東洋大学理工学部建築学科 准教授  
大澤 昭彦 氏

## 可決した意見書

固定資産税及び都市計画税の  
軽減措置の継続を求める意見書

全会一致

我が国は一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、経済社会活動に深刻な影響を受けてきました。昨年秋以降はウィズコロナの考え方の下、経済社会活動の正常化を進め、感染症による経済危機を乗り越えつつありましたが、今年の春以降、原油・原材料価格の高騰等に伴う物価上昇と円安による海外への所得流出という新たな試練を迎えています。

地域経済の担い手である区内の中小企業や小規模事業者の業況は、売り上げの激減、収益の悪化、雇用不安の拡大、金融事情の悪化、後継者不足等により事業存続の危機に直面するなど依然として厳しい状況にあります。

このような状況であっても、千代田区における固定資産の評価額は非常に高い水

準が続き、固定資産税の負担が区民の事業継続の大きな障害になっています。

ほかの地域に比べて重い税負担が続く中でも、安心して生活し、働き、次代に未来を託し住み続けたいと願う区民の負担軽減を求める声には切実なものがあります。そのため、固定資産税等の大幅減税が求められています。

東京都では、昭和63年度以降、独自に小規模住宅用地に係る都市計画税の2分の1軽減措置を、平成14年度からは小規模非住宅用地に係る固定資産税・都市計画税の2割減免措置を、また平成17年度より負担水準が65%を超える商業地等に対する固定資産税・都市計画税の軽減措置など、地方税法において一定の範囲で地方自治体に認められる裁量を最大限活用する等、独自の様々な特例措置を講じられてきたところです。

千代田区は、長年にわたり、区民、町会、区内事業者の皆さんと一体となって、固定資産税の大幅減税を要望してまいりました。しかしながら、依然として大都市圏である特別区は地価水準が高く、住宅コストだけではなく、税負担も大きくなっています。こうしたことから、住宅用地の特例率の縮小及び商業地等の据え置きゾーン下

限の引き上げや特例廃止が行われた場合、区民及び中小企業・小規模事業者に与える経済的、心理的影響は計り知れないものがあります。

よって、千代田区議会は東京都に対し、納税者が納得できる税額となるよう、国に対して固定資産税の大幅減税措置を働きかけるとともに、下記の事項について強く求めるものです。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和5年度以後も継続すること
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、令和5年度以後も継続すること
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、令和5年度以後も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 東京都知事



## 「議会改革」について勉強会を実施しました

千代田区議会では、地方分権の一層の進展を見据え、議会の提案力の向上とともに、区民の視点に立った開かれた議会の実現をさらに目指し、さらにはアフターコロナ及びデジタル化に対応した議会活動のあり方について調査・研究を行っています。

令和4年12月8日(木)に、議会のあり方調査検討特別委員会の主催で議員向けに勉強会を開催しました。

当日は、全国多数の自治体等で政策形成に係るアドバイザーや会長職等を務める牧瀬稔氏(関東学院大学法学部地域創生学科准教授)をお招きし、「議会改革について～議会の権能強化の一視点～」をテーマとし、議会の機能を高めるために、議会からの提案で条例制定をしていくことについて、他自治体の事例を中心に講義をいただきました。





### 委員会で取り扱った請願・陳情 (令和4年11月9日～令和4年12月23日)

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願・陳情名 (受付順に掲載)	送付委員会	審査状況 (令和4年12月23日時点)
外神田一丁目1、2、3番地市街地再開発事業の再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会 (企画総務委員会から送付替え)	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
清掃事務所を区のものとして建設するよう求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
再開発共同化に係る合意形成のルールを条例として作ることを求めます。	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の早期推進を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
六番町偶数番地地区の地区計画に関する陳情書	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の慎重な調査・再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目再開発の速やかな都市計画決定を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田のしゃれた街並み条例の指定は保留、見直しをお願いいたします。	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目再開発計画の再考を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
意向調査の実施に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外一再開発、法17条手続き検討前のご調査ご議論を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発の都市計画早期決定を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
公聴会の開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目再開発における区有財産の取り扱いについて説明会の早期開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発中止を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
千代田区外神田一丁目再開発事業の都市計画決定に関する公聴会の開催を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
都市再開発法3条3号に関する区の認識の確認及び住民に対する説明・協議の機会をつくることを求める陳情書	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
日本テレビ通り沿道まちづくりに関するオープンハウスについての陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
朝日九段マンション耐震補強工事助成金不正申請の検証を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情 (2件)	地域文教委員会	審査終了
千代田区生活支援課における支援の質と体制について	保健福祉委員会	審査終了
日本テレビ再開発提案に関する説明会の再度開催を求める陳情書	環境・まちづくり特別委員会	継続審査



### 令和4年第4回定例会 会期日程 (会期:11月16日～12月12日の27日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程	月/日	本会議・委員会関連等日程
11/16	議会運営委員会	12/1	公共施設調査・整備特別委員会
	本会議 (会期の決定・区長招集あいさつ等)		災害対策・危機管理特別委員会
17	議会運営委員会	2	環境・まちづくり特別委員会
18	環境・まちづくり特別委員会		議会のあり方調査検討特別委員会
24	議会運営委員会	5	議会運営委員会
	本会議 (代表質問・一般質問)		企画総務委員会
25	議会運営委員会	6	保健福祉委員会
	本会議 (一般質問・議案の付託等)		地域文教委員会
	予算特別委員会	8	議会のあり方調査検討特別委員会 勉強会
企画総務委員会	9		議会運営委員会
地域文教委員会		環境・まちづくり特別委員会	
29	保健福祉委員会	12	議会運営委員会
30	予算特別委員会		本会議 (議案の議決等)



### 閉会中の主な活動 (10月～11月)

月/日	日程	月/日	日程
10/24	環境・まちづくり特別委員会	11/2	企画総務委員会
25	議会運営委員会 (開会に至らず)		4
	三常任委員会連合審査会	9	
27	政務活動費交付額等審査会		15
28	区民集会 (お濠の浄化について)		





# 議案の審議結果等 (令和4年第4回定例会)

可(可決) 否(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称	議案名等	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
							小野 なりこ 都ファ	岩佐 りょう子 立憲	長谷川 みえこ 紡ぐ会	小枝 すみ子 声	秋谷 こうき 至誠会	岩田 かずひと 立民	桜井 ただし 自民	欠員	西岡 めぐみ 自民	飯島 和子 共産	牛尾 こうじろう 共産	木村 正明 共産	大坂 隆洋 自民	池田 ともり 自民	山田 丈夫 自民	欠員	永田 壮一 自民	たかざわ 秀行 自民	米田 かずや 公明	大串 ひろやす 公明	林 則行 自民	嶋崎 秀彦 自民	河合 良郎 自民	小林 やすお 自民	小林 たかや 自民		
委員会 提出 議案	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
議員 提出 議案	千代田区学校給食費の助成に関する条例	23	22	6	16	否	×	×	○	○	×	○			×	○	○	○	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	12/12		
	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書	23	22	8	14	否	○	○	○	○	×	○			×	○	○	○	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	12/12		
	外神田一丁目南部地区のまちづくりに関する専門的事項に係る調査の依頼について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
区長 提出 議案	千代田区監査委員の選任の同意について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません																				12/12
	令和4年度千代田区一般会計補正予算第3号	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○																				12/12	
	千代田区職員等公益通報条例等の一部を改正する条例	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×				○	×	×	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	千代田区個人情報保護に関する法律施行条例	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×				○	×	×	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	千代田区高校生等医療費助成条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
	千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×				○	×	×	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	錦華公園改修工事請負契約について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	財産(建物)の取得について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	12/12			
報告	区立お茶の水小学校・幼稚園改築工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														11/25		
	区立お茶の水小学校・幼稚園改築電気設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														11/25		
	区立お茶の水小学校・幼稚園改築空調設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														11/25		
	区立お茶の水小学校・幼稚園改築給排水衛生設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														11/25		
	後楽橋補修補強工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														11/25		
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																														11/25		

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数23名 欠員2名

◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民) / 日本共産党区議団(共産) / 公明党議員団(公明) / 千代田を紡ぐ会(紡ぐ会) / ちよだの声(声) / 立憲民主党 新生ちよだ(立民) / 立憲政策フォーラム(立憲) / 都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ) / 千代田至誠会(至誠会)

<b>区議会だより</b> <b>編集委員会の構成</b> ◎委員長 ○副委員長	◎山田 丈夫(自民) ○河合 良郎(自民)	小野 なりこ(都ファ) 長谷川 みえこ(紡ぐ会) 岩田 かずひと(立民)	西岡 めぐみ(自民) 牛尾 こうじろう(共産) 大坂 隆洋(自民)	池田 ともり(自民) 米田 かずや(公明)
--	--------------------------	--	---	--------------------------

<b>ホームページアドレス</b> <a href="https://gikai-chiyoda-tokyo.jp">https://gikai-chiyoda-tokyo.jp</a>	<b>メールアドレス</b> <a href="mailto:kugikai@city.chiyoda.lg.jp">kugikai@city.chiyoda.lg.jp</a>	<b>公式Twitter</b> <a href="https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai">@Chiyoda_Kugikai</a>
※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。		